

「福島第一信頼度向上緊急対策本部」 の設置について

平成 2 5 年 4 月 8 日
東京電力株式会社



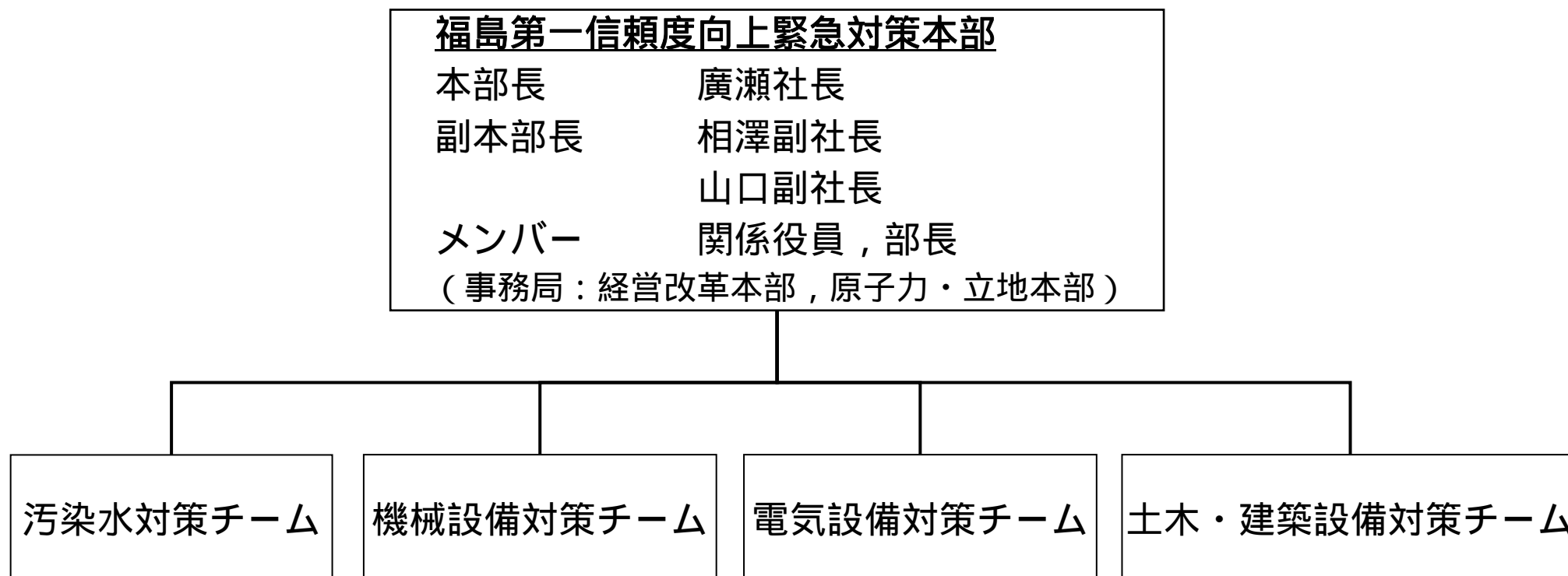
東京電力

1. 「福島第一信頼度向上緊急対策本部」の体制

■体制

当社は、福島第一原子力発電所 1 ～ 4 号機においてトラブル事象が連続発生している状況に鑑み、4月7日に「福島第一信頼度向上緊急対策本部」を設置した。

安定化維持・強化のための設備・運営管理の信頼度向上対策を迅速に実施していく。



2. 汚染水処理の緊急対策

■実施内容

4月5日に確認された地下貯水槽からの漏えい事象に鑑み、当面、以下の緊急対応を行う。

- No.2地下貯水槽水を、未使用の地下貯水槽に安全に移送し、水位測定、サンプリングなどにより監視する。水抜き終了（4月10日予定）後、漏えい箇所の調査に入る。
- No.3地下貯水槽水位を95%から80%以下に低下（未使用の地下貯水槽に安全に移送）させ、水位測定、サンプリングなどにより監視する。No.2地下貯水槽を含めた漏えい箇所の調査を行う。
- 現時点で直ちに地下貯水槽の使用を止めると仮定した場合、地下貯水槽水を受け入れるタンク容量が不足する。当面は、地下貯水槽の漏えい箇所と推定している槽上部の漏えい検知孔の設置レベル以下となるよう水位を約80%上限として、貯留を継続する。
- 平成25年度上期中に増設を予定している約12.6万トン分をはじめ、今後計画しているタンクの設置を前倒しする。
- 更にタンク容量を増やすためのタンク設置適地の検討を行う。
- 多核種除去装置（ALPS）のホット試験を確実に進め、汚染水の浄化によるリスク低減の実現に努める。

3. その他設備の信頼性向上緊急対策

■活動方針

以下の方針のもと、徹底した信頼度向上活動を実施する。

- 燃料冷却設備（原子炉注水設備，使用済燃料冷却設備，共用プール冷却設備，窒素ガス封入設備，原子炉格納容器ガス管理設備）について，機能喪失させない
- 敷地外へ追加的に放射性物質を放出させない
- 火災を発生させない
- 重要設備について停電させない

■取組項目

- 徹底した現場調査に基づく設備リスクの把握と運営管理上の問題点の洗い出し
- 外部の視点の活用も含め、あらゆる対策の実施

■実施内容

新たに機械，電気，土木・建築設備の各チームを編成し，現場を中心に確認した潜在的风险を基に重点的に抽出した問題点について，更なる対策を検討する。作業として，

- ・設計図書の確認
- ・手順書類，予備品の準備状況，訓練等の実施状況の確認
- ・現場のウォークダウン

を速やかに開始し、弱点を抽出次第、即座に対策を実施する。